

福祉部会

福祉部会「オアシスグループ」が
神戸市身体障害者福祉団体連合会より
「功労賞」の表彰を受けます。

福祉部会長 横井幸雄

日頃の障害者に対するボランティア活動が認められ1月24日に標記の大会で「功労賞」を贈呈されました。このグループは福祉文化コース12期生の女性たち5人のグループです。グループ学習で取組んだテーマを卒業後も活動して実践するためにグループわに入会されました。グループわとしてもこのような形で卒業後も活動されるのが望むところです。

「白い杖」とか、「車いす」とかは広く社会に認知されていますが、聴覚障害者の「耳マーク」はそれほど社会に認知されていません。また、聴覚障害者も自主的に「耳マーク」を装着して社会に協力を求めていく形になっていません。「耳マーク」は聴覚障害者のシンボルとして広く社会の方々に知って頂いて協力を得ようという活動です。

グループ学習のテーマ

音を見たことがありますか？
「難聴者、中途失聴者への理解を深めて」という副題で「耳マーク」の普及に取り組む活動です。



グループの活動は目覚しいものがあります。グループで行動することは機会損失になるという考えで、個人で広く活動し機会を増やす取り組みを実践しています。公的機関への働きかけ、関係団体への働きかけ等々、皆さんも「耳マーク」をよく見かけるようになったと感じられていませんか？それは「オアシスグループ」の成果の現れです。この結果が2年余りの活動で「功労賞」を頂くことになったものと思います。

なお、功労賞は団体でなく、個人対象ということで「五味 賀子」さんが代表になって受賞します。部会長としては会員の輪を広げて活動が継続していく事を願っています。これからの活動を大いに期待すると共にご支援を頂きたくお願いします。

兵庫区会

兵庫区会十周年の記念誌を作成

兵庫区会長 大掛 敏夫

兵庫区会では、「震災からのふれあい十周年のあゆみ」を作成し11月の定例会で会員各位に配布致しました。作成のきっかけは、創立から13年ですが、社会福祉協議会に加入してから10年となり、昨年暮れに市長から感謝状を受けたことと、平成21年度からわで区会活性化に取り組み始め、地域交流会のリーダーと話し合えるようになったことです。

内容は「まえがき」「目次」「会則」「役員名簿推移」「会計推移」「定例会・歴史」「福祉関係」「親睦・レクリエーション」「思い出のアルバム」で裏表紙には区のPRパネルの写真を配しました。

兵庫区会では、創立時、1期から3期の現役学生でスタートした関係で、わに加入

していない方は全会員の約3割、わに加入している方の中で区会に参加されていない方はわの会員の約4割の方がおられます。平成20年度会員だった9期～11期生の方は21年度には参加者がありませんでした。区会では高齢化が進みつつあります。

現役の学生さんとの交流を進めるため、先日2グループのリーダーと会い記念誌をグループ用としてお渡し致し、兵庫区会の現状を説明し、現役グループの実情をお聞きし1月に実施予定の新年会に無料招待致しました。今後

もう一人のリーダーとも会い、少しでも区会に参加していただけるようにしていきたいと思っ



「十周年のあゆみ・思い出のアルバム」から「朝鮮通信使行列（平成13年7月）」